

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 計算知能と数理モデルを統合した高解像度生態水理シミュレータの開発
2. 研究代表者： 福田 信二（東京農工大学 大学院農学研究院 教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、非定常水環境解析システムに加え、生物の空間分布モデルや個体行動・群集動態モデルを統合することにより、河川～農業水路網における統合生態水理環境シミュレータの開発を目指すものである。フェーズ 1 では、個々のシステムの開発や要素モデルの検討を行い、研究課題によってはデータ処理などのいくつかの問題はあるものの、概ね良好に進捗している。フェーズ 2 の研究計画は、フェーズ 1 の成果に基づき、当初の目的に沿って個々の要素モデルの統合を目指している。人為的攪乱や洪水などの個々の要素の統合方法や統合後の妥当性の検証方法についてさらなる検討が必要だが、当初目標である統合生態水理環境シミュレータ開発の達成を期待する。

以上